

8月6日（火） 同年代の英国人学生との交流会

登校時間の8時30分になると、続々と生徒達が登校してきました。
午前中は、フィールドワークで取材した情報をまとめたり、研修校のパソコンを利用して、インターネットでの情報収集も行いました。



午後は「英国人学生との交流会」が行われました。

前半のディスカッションでは、小グループごとに分かれて、生徒たちは自分のスピーチテーマを紹介したり、同年代の英国人の意見を聞いたり、その他沢山の質問を投げかけたりしました。先日のフィールドワークのお蔭で、インタビューは非常にスムーズに行われました。

約5分間会話をした後に英国人学生を入れ替える、という風に、約1時間をかけて沢山の英国人とお話をしました。スピーチトピック以外にも、趣味や、日本の文化、学校の様子、大学進学について、週末の過ごし方、旅行、好きな歌手や映画の話など、会話のトピックは幅の広いものだったようで、あっという間に会場は会話の熱気に包まれました。語学には、このような「反射力」の様な力が非常に重要です。英国人学生達からも、その他ホストファミリーの様子や、研修の様子、イギリスでも話題になっているラグビーワールドカップとオリンピック、流行など、様々な質問を受け、皆さん必死にやり取りを行いながらも、とても楽しんでいる様子でした。

後半はスポーツ交流を楽しみました。日本人と英国人が混合した3つのチームにわかれて、自己紹介をし、それぞれのチームワークを高める為、ウォーミングアップのゲームをしました。チームの団結が出来たところで、いよいよスポーツの開始です！



3チーム対抗戦で「Egg & Spoon Race」（卵運び）、「Badminton Keepy-Uppy」（羽根を落とさないゲーム）、「Over Under」（ボールをパスするゲーム）、「Three-legged Race」（二人三脚）、パン食い競走など様々なリレー種目に挑戦しました。

特にパン食い競走ならぬ、お菓子食い競争はかなり盛り上がりました。今回は、パンの代わりに、高等部生が日本から持って来て頂いた日本お菓子（キットカット、ハッピータンなど）を使用しました。イギリス人にとっては珍しいお菓子、そして日本人の生徒たちにとって馴染みの味という事で、お互いに競争心が高まり、猛スピードで走っていました！

次は、Bench Ball（ベンチボール）のトーナメントを開きました。

ベンチボールはイギリスの体育授業の定番です。ルールは、コート内で2チームに分かれて、相手側コート奥に置かれたベンチに向かってボールを投げます。ベンチには初めは一人が立ち、味方から投げられたボールをキャッチできれば、投げた人はベンチの上に立ちます。コート内の人には敵から投げられたボールを阻止して、ゴールキーパーの数が減るのを防ぎます。全員がベンチに立てばそのチームの勝ちになります。次から次に生徒さん達はボールを投げ、チームメイトがキャッチし、みんなの歓声と悲鳴があがり、大盛り上がりでした！

最後は、綱引きに挑戦しました。お互いに“Come on!!”「頑張れ！」などと気合を入れあい、チームワークがぴったりです。皆、全力で頑張りました！

トーナメントで各種目の1位は3点、2位は2点、3位は1点が加算され、総合結果が発表されました。総合優勝は全ての競技を万能にこなした黄色組の Team Japan となりました。表彰式には英国人の先生からお菓子（ポッキー！）が贈られました。一緒に体を動かすことで、言葉の壁を越え、仲間として共に楽しめた時間は貴重な体験となりました。何よりも、交流会中、沢山の笑顔を見ることができました。

最後に記念撮影をし、お別れの時間を惜しみつつ交流会は終了となりました。

